

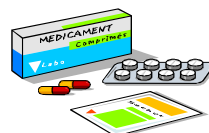


医療情報の調べ方 part3 薬について調べる

2008.3 山梨県立図書館



薬について調べる



Step1 薬について体系的に調べる

『薬の事典』（朝倉書店 2001）

薬の歴史、薬の区分、新薬の許可・規制・流通、薬の副作用、薬害、薬局の機能、薬の見分け方などの総論から、各医薬品の作用・特徴、適応、禁忌、副作用、注意、商品名、同効薬について説明している各論で構成されている、薬の総合事典です。

薬についての法律といえば、「薬事法」。1960（昭和35）年に制定された医薬品・医薬部外品・化粧品・医療用具に関する事項を規制し、それらの品質・有効性・安全性を確保することを目的とした法律です。

『逐条解説薬事法』（ぎょうせい 2001）

明治維新以後の薬事の歴史についても知ることができます。

Step2 個々の薬について調べる

1. 病院でもらった薬を調べる



『くすりの事典』2008年版（成美堂出版 2007）

6,200品目の薬を掲載しています。その半数は、カラー写真から探すことができます。また、薬の包装材料等に記載されている名前（くすりの名前、成分名）からも探すことができます。

『写真でわかる処方薬事典』最新版（ナツメ社 2005）

オールカラーで処方薬を紹介しています。効能効果、用法用量、禁忌、重要な注

意の記述があります。巻末には、一般名・製品名の索引が付いています。

『ひと目でわかる医者にもらって効く薬、無駄な薬』（米山公啓著 講談社 1998）

71種類の薬を厳選して、効能・効果、同系統の薬剤、副作用、有効率、使用上の注意、相互作用、臨床医の意見を紹介しています。巻末には、薬の和文・英文索引があります。

「ジェネリック医薬品」とは？

ジェネリック医薬品とは、「特許が切れた成分の薬」のこと。特許が切れた後は、同じ成分の薬を、最初に開発した製薬会社以外の会社が製造して販売することができます。これを、ジェネリック医薬品と言います。

先発医薬品より、20～80%程度安いジェネリック医薬品を知って、薬代を下げる工夫もできます。

『ジェネリック医薬品がわかる本』（法研 2006）

ジェネリック医薬品のメリット、デメリットや活用すべきケース、求め方等の情報や実際のジェネリック医薬品リストと先発医薬品との価格差等を紹介しています。

『あなたの薬代が半額になる！』（中野次郎著 祥伝社 2004）

ジェネリック医薬品を使ってみたい方にお薦めの一冊です。ジェネリック医薬品を処方する病院のリストや新薬との銘柄価格比較一覧表などが載っています。

2. 市販の薬を調べる



『市販薬ガイドブック』05-06（碧天舎 2005）

薬局・薬店で販売している医薬品を中枢神経用薬、胃腸薬、外皮用薬、抗アレルギー薬など14の項目に分類して収録しています。それぞれの医薬品の成分・分量、効能・効果、用法・用量が記載されています。

『J A P I C 一般用医薬品集』2007（日本医薬情報センター 2006）

現在、製造（輸入）及び販売されている一般用医薬品約11,000品目を収録しています。商品名の五十音索引、会社別製品索引があります。また、巻末には、一般用医薬品リスク分類表、ブランド別成分比較表も載っています。

『薬局で買える子どもの薬がよくわかる本』（佐川賢一著 法研 2007）

薬局で買える子どもの薬の賢い選び方や使い方がよくわかる一冊です。薬の副作用と相互利用、正しい飲ませ方、薬の添付文書の読み方などの子どもの薬についての基礎知識が習得できます。

『医療用医薬品添付文書』を読んでいますか？

医療用医薬品添付文書は、薬事法により医薬品の製造・販売時に製造販売業者が作成して添付するよう義務づけられている唯一の法的根拠のある医薬品情報源です。

この添付文書を正しく理解するためのお薦めの一冊です。

『添付文書の読み方』改訂（望月眞弓著 じほう 2004）



3. 漢方薬を調べる

『和漢薬百科図鑑』1, 2（難波恒雄著 保育社 1993-1994）

1巻には根、根茎、果実、種子類和漢薬233種412点、2巻には全草、葉、花、根皮、樹皮、茎、材、樹脂、エキス類、藻・菌類、動物、鉱物類和漢薬218種314点を収録しています。

『和漢薬の事典』（朝倉書店 2002）

生薬として一般に常用されているもの240品目と歴史的に有名なもの60品目を取り上げ、個々の生薬についての出典、基源、産地、成分、処方例、用法・用量、同類生薬等を掲載しています。

『中薬大辞典』全5巻（小学館 1985）

中薬とは、生薬の中でも古典に記載されたり、歴史的、体系的に検討がされたものをさします。本書では、4,773点の植物薬、740点の動物薬、82点の鉱物薬、172点の加工製造品が収録されています。

『漢方のくすりの事典』（鈴木洋著 医歯薬出版 1994）

漢方薬、家庭薬などに配合されている漢方生薬を中心に、日本の民間薬、ハーブについて、その起原、分布、語源やいわれ、主成分、薬理作用、味などを解説しています。

インターネット情報源

「ハイパー薬事典」(Pharma Friend)

http://www.jah.ne.jp/~kako/frame_dwm_search.html

薬の名前や記号から、効能、注意点、副作用などの概略を調べることができます。

「おくすりナビ」(株式会社ペンシル) <http://www.okusurinavi.com/index.html>

薬局で販売している薬やその成分などの詳細がカテゴリーや副作用から調べることができます。

「くすりのしおりR」(くすりの適正使用協議会) <http://www.rad-ar.or.jp/siori/>
約7,000種類の医療用医薬品が、商品名、主成分、剤形などのキーワードや企業名で探すことができます。

「おくすり検索」(セルフメディケーション・データベース・センター)
<http://search.jsm-db.info/main2.php>
市販の薬を症状や薬効、成分、製品名、メーカー名、剤形などの項目を組み合わせで調べることができます。

「医薬品情報データベース」(日本医薬情報センター)
<http://database.japic.or.jp/>
一般用、医療用医薬品添付文書を、医薬品名、会社名で探すことができます。新薬の承認審査報告書の全文を編集した「日本の新薬」というデータベースがあり、医薬品名、会社名、剤形、効能・効果など様々なキーワードから新薬を探することができます。

「健康Salad」(株式会社テレウェイヴリンクス)
<http://www.k-salad.com/index.shtml>
薬の飲み方、剤形による効き目の違いなどの薬の豆知識が得られます。

↓ さらに広く調べたい方は、こちらをご覧ください ↓

医療情報の調べ方 part 1 「病気について調べる」

医療情報の調べ方 part 2 「病院・医師について調べる」